

岡田病院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人社団成蹊会 岡田病院
開設主体	医療法人社団成蹊会
所在地	山口県長門市東深川 888 番地
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	148 床 一般病床：100 床、療養病床：48 床 急性期：100 床、慢性期：48 床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	148 床 一般病床：100 床、療養病床：48 床 急性期：100 床、慢性期：48 床
診療科目	内科、整形外科、循環器科、外科、消化器科、肛門科、 リハビリテーション科、脳神経外科、神経内科、放射線科、麻酔科 泌尿器科、リウマチ科
職員数	186 名
・ 医師	5 名
・ 看護職員	107 名
・ 専門職	48 名
・ 事務職員	26 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 一般病棟13対1入院基本料、地域一般入院基本料1、療養病棟入院基本料1
平均在院日数；22.4日、病床稼働率：80.9%

② 自施設の課題

地域の医療需要の減少が見込まれること、職員の確保が難しいことから、現状の体制を維持するべきか否か、検討が必要。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・二次救急医療機関としての役割を果たすとともに、高齢者の慢性期医療の需要にも対応していく。

② 今後持つべき病床機能

- ・現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、規模の適正化を検討する。
- ・回復期機能を提供する病棟の整備について検討する。

③ その他見直すべき点

- ・医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床規模について検討する。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	100		88
回復期	0		12
慢性期	48		48
休棟等			
(合計)	148		148
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2019	急性期病床12床を回復期病床に転換	地域で不足する回復期機能を充足 地域で過剰な急性期病床の削減

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

特になし

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

病床稼働率83%以上を維持する。

【4. その他】(自由記載)

--

齋木病院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 生山会 齋木病院
開設主体	医療法人 生山会
所在地	長門市東深川西新開 134
許可病床数	90床
(病床の種別)	一般病床 46床 療養病床 44床
(病床機能別)	なし
稼働病床数	90床
(病床の種別)	同 上
(病床機能別)	同 上
診療科目	内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内科、外科 整形外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科
職員数	
・ 医師	7.4
・ 看護職員	56
・ 専門職	13
・ 事務職員	12

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出 入院基本料 地域一般入院料 2

平均在院日数 22日 病床稼働率 82,3%

療養病床 入院基本料 2

病床稼働率 68,1%

② 自施設の課題

二次救急を担っている現状で整形外科医の退職により困っている状況である。大学等におねがいして対処することを行っている。

病院の建物等の老築化により建替の検討を行っている。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

二次救急病院にて地域の医療の提供体制の維持

② 今後持つべき病床機能

地域の人口の減少等に鑑み一般病床の削減（10%程度）及び療養病床は当法人に60床（俵山病院）あるので20%程度の削減が必要かもしれない。

③ その他見直すべき点

人口減少等さらにグループホーム等の増殖により療養病床の患者は減少傾向にある。

そのため療養病床の減少はさげられないかもしれない。しかしながらこれらの施設から重篤患者の入院等の増加もあるのでこれも視野に入れておくべき。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	46		46
回復期			
慢性期	44		44
休棟等			
(合計)	90		90
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

俵山病院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 生山会 俵山病院
開設主体	医療法人 生山会
所在地	長門市俵山 4912-1
許可病床数	60 床
(病床の種別)	療養病棟
(病床機能別)	慢性期 60 床
稼働病床数	60 床
(病床の種別)	療養病棟
(病床機能別)	慢性期 60 床
診療科目	内科、外科、整形外科、脳神経外科、リハビリ科
職員数	56 名
・ 医師	3 名
・ 看護職員	26 名
・ 専門職	21 名
・ 事務職員	6 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

療養病棟入院基本料 2（注11に規定する届出）

② 自施設の課題

30年4月1日の診療報酬改定にて、療養病棟入院基本料2（注11に規定する届出）の経過措置は2年間とされた。今後、療養病棟入院基本料1への転換は困難と考えられるため新たな転換先が必要。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

2025年に向けた当医療圏（長門市）の地域医療構想の中で慢性期の必要病床数128床に対し現状（平成29年）が205床と余剰している事もあり、当院としては医療療養病床から介護医療院として地域における医療の必要な要介護高齢者の長期療養・生活施設としての一翼を担う。

② 今後持つべき病床機能

医療の必要な要介護高齢者に対するリハビリを中心とした長期療養・生活施設。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	60		
休棟等			
(合計)			
介護保険施設へ移行予定	—		50
うち、介護医療院	—		50

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

介護保険施設への転換であるが、当院は市街から少し離れた人口約千人の地区にあり地域医療を考えるに外来を診療所として残すことを予定している。
--

